

私は、2020年1月10~11日に千葉大学医学部附属病院ガーネットホールにて開催されたThe 8th Global Network Forum on Infection and Immunityへ参加し、『Homeostasis through neural control of gut microbiota in *Drosophila*』という題で発表させていただきました。発表の準備にあたって、布施直之先生をはじめとするスタッフの方々や研究室のメンバーには多大なるご協力をいただきました。本当にありがとうございました。今回の機会を通して、世界最先端の研究に触れて刺激を受けるとともに、自身の研究や発表方法について見直すことができました。今後は、自身が周囲に刺激を与えるような研究を進めていきたいと考えています。

1日目は、ポスター発表をおこないました。幸いなことに、多くの方々と意見を交換することができ、大変有意義な時間となりました。今まで論文で名前を見かけるだけであった研究者と面と向かってディスカッションするとあって、緊張しましたが、自身の研究についてより深く考察する良い機会となりました。私の拙い英語にも耳を傾けてくださり、ありがたいと思う一方、「もっと話したいことがあるのに」ともどかしく思う場面もありました。次回は、英語力やデザインなどを磨き、よりよい発表を目指したいと考えています。

2日目は、シンポジウムがおこなわれました。それぞれの分野の第一線で活躍されている研究者の発表を聞き、とても興奮しました。特に、Hsiao先生の発表は、その内容もさることながら、わかりやすく美しいデザインであり、思わず見惚れるほどでした。今後の発表の参考にしたいと思います。

全体を通して、研究における「伝える力」の重要性を実感しました。この経験を活かして、自身の発表についてもよりわかりやすく、より面白く伝えていきたいと考えています。このような貴重な機会を与えていただき、本当にありがとうございました。

